



登山への想い

日本ユニコム
常務 青山 秀世



噴火湾を臨む海辺の町に生まれ育った私は、登山の経験はほとんどなかった。そんな私が、登山好きの妻に「ロープウェイで上がればすぐだし、いい温泉もあるから」とそそのかされ、ハイキング程度の軽装で初めて登ったのが標高2,701mの西穂高独標だった。途中から降り出した雨と風の中、ぬかるむ樹林帯を抜け、ようやく急角度でそびえ立つ独標の下に辿り着いた。雨で滑る岩に手をかけると、急に周りのガスが風に飛ばされ、遙か眼下に梓川の流れと上高地を望み、思わず目がくらみ足がすくんだ。

今から思えば、あの天候の中、素人がよくあそこまで、と冷や汗ものだが、頂を目指し、ひたすらコツコツと進む登山に、自分のこれまでの歩んできた姿が重なり、存外自分に合っているのではないかと思つた。

それ以来、折をみては山に登るようになった。何より、尾根を行く爽快感、頂上での達成感、壮観な日の出、日の入りなど、地上にいては得難い楽しみだ。

確かに人生と山登りは似ている。これから先に次々に現れる上り下りにも、たゆむことなく前進していきたいものだと思う。

断固たる目標

エース交易
取締役 種田 繁樹



30歳の時転職し、エース交易にお世話になり、今年で12年となります。その前は板前をしておりました。大学に行きながらではありましたが、18〜30歳の12年間と外務員としての12年が今年で並びました。

当社に入社した時の感想はこうです。「日曜日に休める」、「椅子に座って仕事出来る」、「年末年始に仕事しなくて良いなんて」と夢の様な好待遇と感じました。当然今ではそれが当たり前と感じていますが、

板前時代は朝出勤してまず湯を沸かします。捨て湯と呼ばれる物で、ダシを取り、野菜を切り、魚を水洗い、煮物を作り、開店するとオーダーに追われ、閉店後翌日の段取りと発注、清掃をして一日が終わります。毎日この繰り返しです。が、これに飽きて変化を求めると、その中に目標を作り出す者に分かれず。当社の新人にはいつも話すことですが、外務員も板前もその他ほとんどの職業が同じことを繰り返す日々を送っている、繰り返し毎日やるからこそ、プロになれる、大切なことは断固たる目標がその中にあるかないかだ」と。

今後常に目標を意識し、偉大なる繰り返しの中を成長して参ります。

鑑橋随想

ライフプラン

丸梅
取締役 神田 正満



去る5月28日、ファイナンシャルプランナー(2級)の試験に挑戦した。幅広い知識を得たいからというよりは建前で、FPという言葉の響きに惹かれたのが正直な理由だ。

それが安直である故、申し込みをした方がいいが気楽に構えることとなり、気がつけばGWに突入してしまつたではないか。

自分の周到のなさに呆れながらも、まっさらの参考書を頼りに、週末は図書館に出向き、帰宅後も机に向かった。試験当日、計画性がなく短期間でやったことへのしつべ返し、最初の予想外の問題に手こずる羽目となる。

2科目210分の試験は、学習過程と同様に少しの余裕もないまま終わってしまった。幸いなことに試験は合格し、爽快感を味わった。振り返るに、年齢とともに活性化されにくくなった脳をなだめながらも、新しいことを吸収できたのはどうしてだろう。

思い当たるのは、日経新聞を継続して何年も読み続ける習慣があったからだろう。それが、私にとって良い教材となっていたのかもしれない。仕事のプロセスも、広く浅くそして永くが原点だと、あらためて感じさせられたのである。

手振りの想い出

三菱商事フューチャーズ証券
取締役 渡邊 和雄



2004年6月、ニューヨーク・マーカンタイル取引所(NYMEX)を訪れ、石油製品のピットで原油とガソリンの商いが活況を呈し、各社のロゴの入った制服を着たブローカー(場立ち)の叫び声が飛び交い、手振り相対取引が行われていました。

取引所職員がブローカーから受け取った売買成立伝票を端末に入力すると取引フロアの電子掲示板に表示されるとともに、その最新の価格情報が世界へと発信されていきました。

その手振りをみていて、ふと走馬燈の如く蘇ってきたのが若かりし頃のことです。1964年に商品業界に入り、市場業務部に配属されて、東京穀物商品取引所の補助員に。

2年後に取引所の立会場で直接売買契約を結ぶことができる市場代表者に資格を取得して無我夢中で手振りをしていました。当時、国内商品取引所の主流だった売買仕法は「板寄せ・ザラバ折衷」方式で、市場代表者(場立ち)が円形に並んで会社から注文を手振りで相手方を探し、売買約定を成立させました。

NYMEXのオープンクライアウト方式に、かつての私の体験と同じ匂いを感じ、感動しました。

ビートルズとの再会?

ひまわりC X
法務部長 小林 榮一



今年にはビートルズ来日40周年。日本武道館のコンサートから随分と時が経ってしまった。当時の若者たちは「団塊の世代」と呼ばれ、2007年問題に直面している。私も団塊の尻尾の55歳、年が明ければすぐに56歳である。

1966年7月、高校1年生だった私は、彼等を身近に感じるため、武道館のある北の丸公園をフラフラと歩いていたことを鮮明に記憶している。

私には正に「ビートルズとの再会」である。いや、誰が何と言おうと「再会」なのである。六本木で世代を超えたビートルマニアと共に……。

そして現在は、月1回、六本木キャヴァークラブに通い詰めている。そこには卓越した演奏テクニックとパフォーマンスで「ビートルズを演じる」バンドが出演している。

少年野球

フリップフューチャーズ
管理部長 井上 幸紀



毎週土・日はボールを追いかけている。息子が少年野球のチームに入っているからである。

ろくすっぽ、キャッチボールも出来なかつた息子も、5年生になり、部員の人数の関係から、定位置をもらっている。

チームの運営は、父親が練習に参加し、コーチらしきことをし(半分はタマ拾いにすぎないが)、母親は月に一度回ってくるお茶当番をこなすことで成り立っている。

練習に参加し始めの頃は、走ると足がもつれ、キヤッチボールをすると、翌日肩が張り、首が痛んでい

見 拝 なにわの海の 時空館

2000年7月14日にオープンしている「なにわの海の時空館(大阪市住之江区南港北)」を訪ねた。



ドーム型海上展示館

先物取引を解説 画像で見せる

先物取引は帳合米取引と呼ばれ、大坂堂島米会所で誕生したビジネスモデルだと解説したあと、大坂に運ばれたお米は一旦保管されて江戸などに送られていくが、その間の値動きでプライス・リスクが生じていた。

そこでお米屋さんたちは先物取引をつかって保険つなぎをしていったのだと説明。

解説にあわせて、画面はセリ売買の様子、堂島の記念碑、堂島米会所の錦絵と映されていき、保険つなぎを説明するグラフィックが下で、正米取引で価格が下がると損だが、帳合米取引で売っておくと正米取引の損がカバーできるとグラフィックが表示される。こうした先物取引によってお米屋さんたちは安心して商売ができたと言いつつ、現代のシカゴ・ブレード・オプト・トレードの立会い風景が流れ、大坂には世界で最初に先物取引が誕生したのだと結んだ。

のシアターになっていて、2階には江戸と大坂を航行していた菱垣回船「浪華丸」が原寸大で復元されている。最上階の4階は海の交際史「海がたなぐ世界の文化」で、その下の3階は「大阪みなの繁栄」のブリスで、ここにお目当ての商品先物取引の展示がある。

まず、江戸時代に米などの浪速に入ってきた物品の一覧表があり、それらを保管する蔵屋敷の地図やジオラマ模型(広島藩)が展示されている。

中央にビデオ装置が設置されていて、「米相場」の画面にタッチするとナレーションがはじまった。

今年最後の先物協会理事(11月21日)で、加藤雅一会長は「今年7月以降、取引所出来高は改正商取法施行以来の月間最少出来高を更新し続けており、取組も110万枚近くまで低下、市場の流動性回復が喫緊課題だ。そ

短期集中的に取り組む 先物協会理事会 加藤会長挨拶

ここで、市場振興戦略会議を組成し直して、「広報実施戦略等検討部会」と3つの部会に分け、1月までの3ヵ月を目標に短期集中的に取り組む、皆様方の経営が成り立つよう、具体案を提案していき」と述べた。

「顧客トラブル減少に向けた取組」に対する会員の皆様のご理解、ご協力に對しましてお礼申し上げます。

当協会といたしましては、この取り組みを実態あるものとするのが重要であると考え、来年も引き続き推進していく所存です。

なお、お送りいたしましたポスターにつきましては、まだ残部がございますので、事務局までご請求下さい。

会員の皆様をはじめ関係者各位には今年も大変お世話になりました。来年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

事務局より